

薬第 1182-7 号  
平成30年2月23日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長 様

埼玉県保健医療部薬務課長 天下井 昭（公印省略）

覚せい剤原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について（通知）

保健医療行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、標記について、平成30年2月21日付けで政令の改正が公布され、その取扱いについて、平成30年2月21日付け薬生発0221第1号で厚生労働省医薬・生活衛生局長から別添（写）のとおり通知がありました。

今般、覚醒剤原料として指定された成分を含有する製剤は、現在医薬品製造販売承認申請が行われており、承認後は広範囲で流通する可能性があるため、政令の施行後、覚せい剤取締法に基づき適正な取扱いを行う必要があります。

つきましては、新たに指定される覚醒剤原料を調剤以外の目的で使用あるいは販売する者への取扱を下記2（2）のとおりいたしますので、各会員への周知について御配慮いただきますようお願いいたします。

記

1 改正の内容

次の1物質を新たに覚醒剤原料に指定した。

○2,6-ジアミノ-N-(1-フェニルプロパン-2-イル)ヘキサンアミド、  
その塩類及びこれらのいずれかを含有する物

2 施行期日等

（1）施行期日

平成30年3月23日（公布日から起算して30日を経過した日）

（2）留意事項

- ① 医薬品製造業者、研究者及びその他の者が業務又は研究のため、今回新規指定された覚醒剤原料を継続して取り扱う場合には、覚せい剤取締法第30条の7第1号から第5号に規定する者の指定を受ける必要があることから、政令施

行までにあらかじめ必要な手続を行うこと。

- ② 現に覚せい剤取締法第30条の7第1号から第4号に規定する覚せい剤原料取扱者等として指定を受けている者が、政令施行後、今回指定された覚せい剤原料を取り扱う場合は、政令施行後30日以内に「取扱品目等変更届出書（覚せい剤取締法許可処分要領第12号様式）」を提出すること。
- ③ 現に覚せい剤取締法第30条の7第5号に規定する覚せい剤原料研究者として指定を受けている者が、政令施行後、今回指定された覚せい剤原料を取り扱う場合は、政令施行後速やかに変更後の研究計画書を添えて、「取扱品目等変更届出書（覚せい剤取締法許可処分要領第12号様式）」を提出されたい。

担 当：薬物対策担当 大林

電 話：048-830-3633

FAX：048-830-4806



薬生発0221第1号  
平成30年2月21日

各 〔  
都道府県知事  
保健所設置市長  
特別区長  
〕 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局長  
( 公 印 省 略 )

覚せい剤原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について（通知）

本日、覚せい剤原料を指定する政令の一部を改正する政令（平成30年政令第36号）が公布されましたので、貴職におかれましては、下記事項について御了知の上、関係各方面に対する周知の徹底と適切な指導をお願い申し上げます。

## 記

### 第1 改正要旨

#### 1 改正の趣旨

今般、覚醒剤の製造原料となる1物質を覚醒剤原料として新たに指定するため、覚せい剤原料を指定する政令（平成8年政令第23号）の一部を改正した。

#### 2 改正の内容

次の物質を新たに覚醒剤原料に指定した。

2, 6-ジアミノ-N-(1-フェニルプロパン-2-イル)ヘキサナムド、その塩類及びこれらのいずれかを含有する物

#### 3 施行期日

公布の日（平成30年2月21日）から起算して30日を経過した日（平成30年3月23日）から施行する。



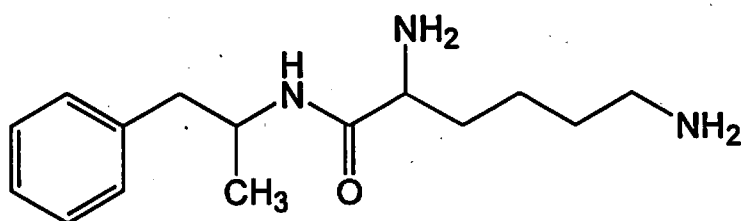
## 第2 留意事項

医薬品製造業者、研究者及びその他の者が業務又は研究のため、今回新規指定された覚醒剤原料を継続して取り扱う場合には、覚せい剤取締法(昭和26年法律第252号)第30条の7第1号から第5号に規定する者の指定を受ける必要があることから、政令施行までにあらかじめ必要な手続きを行わせるよう指導すること。

## 第3 物質の構造式等

化学名：2, 6-ジアミノ-N-(1-フェニルプロパン-2-イル)ヘキサンアミド

構造式：



※2, 6-ジアミノ-N-(1-フェニルプロパン-2-イル)ヘキサンアミドには4種類の立体異性体が存在するが、その内、(2S)-2, 6-ジアミノ-N-[(2S)-1-フェニルプロパン-2-イル]ヘキサンアミドに、国際一般名称「リスデキサンフェタミン(英名：Lisdexamfetamine)」がつけられている。